

## 第5学年 社会科 学習構想案

日 時 令和7年10月31日（金）第5校時

場 所 八代市立金剛小学校 体育館

指導者 教諭 後藤 麻裕

### 1 単元構想

単元名	未来をつくり出す工業生産「自動車の生産にはげむ人々」（「教育出版」p122-p141）								
単元の目標	<p>(1) 我が国の工業生産の現状について、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようする。 [知識及び技能]</p> <p>(2) 我が国の工業生産が国民生活に果たす役割や工業生産に関わる人々の働き、貿易や運輸の役割を多角的に考える力、工業生産に見られる課題を把握してその解決に向けて考える力、考えたことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 [思考力、判断力、表現力等]</p> <p>(3) 我が国の工業生産について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。 [学びに向かう力・人間性等]</p>								
単元の評価規準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>知識・技能</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           ① 我が国では様々な工業生産が行わっていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。            ② 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。         </td><td>           ① 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要をとらえ、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。            ② 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力をとらえ、その働きを考え、表現している。         </td><td>           ① 我が国の工業生産について、主体的に問題解決しようしたり、その発展について多角的に考えようしたりしている。         </td></tr> </tbody> </table>	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	① 我が国では様々な工業生産が行わっていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。 ② 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。	① 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要をとらえ、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 ② 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力をとらえ、その働きを考え、表現している。	① 我が国の工業生産について、主体的に問題解決しようしたり、その発展について多角的に考えようしたりしている。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度							
① 我が国では様々な工業生産が行わっていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。 ② 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。	① 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要をとらえ、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 ② 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力をとらえ、その働きを考え、表現している。	① 我が国の工業生産について、主体的に問題解決しようしたり、その発展について多角的に考えようしたりしている。							

### 単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）

身の回りにある電化製品や自動車などの工業製品について、生産効率や働きやすさの追求、よりよいものを生産し届けるための努力とそれを支える人々の思いなどに加え、これから社会にどのような自動車が必要であるか考えることができる児童。

単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）	本単元で働かせる見方・考え方
よりよい社会にするために、これから自動車生産に大切なことは何だろう。	日本の工業生産の様々な特色を整理し、それらを関連付けて、自動車生産に携わる人々の工夫や努力について考えること。

### 指導計画と評価計画（10時間取扱い 本時9／10）

次	時間	学習活動（「問い合わせ」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的な評価規準」
一	2	○身近にある様々な工業製品や、昔と今の工業製品の変化に着目して、現在の工業製品は人の手が加えられ改良されてきたものであり、その生産が国民生活を支えてきたことを捉える。	【知①】（発言・C a n v a ・スプレッドシート） ○自動車の車体や性能、生産の様子の変化について資料から読み取ったことを基に、現在の自動車生産について予想し、学習課題をつくるために考えている。
二	6	○自動車の組み立てラインの具体的な作業に着目して、大量生産を支えている効率のよい生産の工夫や努力をとらえる。調べて分かったことをもとに、次に調べる問い合わせを明確にする。 ○新しい自動車や機能の開発の様子に着目して、自動車を生産する会社では、消費者のニーズを反映した製品の開発を進めていることが分かる。	【知②】（発言・C a n v a ・スプレッドシート） ○大量生産を進めるうえで必要な、作業のミスを防ぐ工夫や、働きやすい環境を整える取組について、複数の資料から的確に読み取っている。  【態①】（発言・C a n v a ・スプレッドシート） ○自動車を生産する会社が、どのようにして消費者のニーズを反映した製品を開発しているかについて、複数の資料から読み取り、主体的に追究し、自分の考えをまとめようとしている。
三	2	○これまでの学習を整理して、自動車の生産に関わる人々の働き、消費者のニーズや社会の動向に対応する工夫や努力について理解し、様々なニーズや課題に応えるこれからの自動車生産について考える。【本時】	★【思①】（発言・C a n v a ・スプレッドシート） ○調べたことを、適切な写真や資料を使って、相手に分かりやすいように適切に表現している。 ★【態①】（対話、C a n v a ・ポータルサイト） ○友達の考えを参考にしながら、学習課題の解決に向けた自分の考えをもとらとしている。

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)																																																						
小学校学習指導要領第5学年の内容 (3)																																																						
【知識及び技能】																																																						
ア (ア) 我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解すること。 (イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。																																																						
【思考力、判断力、表現力等】																																																						
(ア) 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。 (イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。																																																						
教材・題材の価値																																																						
本教材は、身の回りにたくさんの工業製品があること、工業製品が改良されてきたことなどを捉えるとともに、自動車産業は日本の基幹産業であり、関連工場の広がりも大きい自動車生産（機械）を例として学習を進めることにより、日本の工業生産の特色や課題を理解し、今後の社会の在り方について考えていくことができる。																																																						
本単元における系統																																																						
<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">4年「昔から今へと続くまちづくり」</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; text-align: center;">5年「未来を支える食料生産」</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; text-align: center;">5年「未来をつくり出す工業生産」</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; text-align: center;">5年「未来とつながる情報」</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; text-align: center;">6年「日本とつながりの深い国々」</div> </div> </div>																																																						
児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）																																																						
<p>本単元の学習に係る実態調査（9月）</p> <p>★社会の学習に関して（4段階 4：最も当てはまる → 1：全く当てはまらない）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">調査内容</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">4</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">3</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">2</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">社会の授業への興味・関心</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">11名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">18名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">授業における話し合い活動への意欲</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">21名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">9名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">話し合い活動を通じた思考の広がり・深まりの実感</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">23名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">8名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">学習内容と自分の生活や将来とのつながり</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">24名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">5名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">3名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>★ICTに関して</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">調査内容</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">4</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">3</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">2</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">タブレットを使った学習への興味・関心</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">27名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">3名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">考えをまとめる等におけるタブレットの活用</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">20名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">9名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">3名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">タブレットを活用した話し合い活動（対話）の活性化</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">20名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">9名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">4名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">0名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">タブレットを活用した学習全般の有効性の認識</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">24名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">8名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1名</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">0名</td> </tr> </tbody> </table>					調査内容	4	3	2	1	社会の授業への興味・関心	11名	18名	2名	2名	授業における話し合い活動への意欲	21名	9名	2名	1名	話し合い活動を通じた思考の広がり・深まりの実感	23名	8名	1名	1名	学習内容と自分の生活や将来とのつながり	24名	5名	3名	1名	調査内容	4	3	2	1	タブレットを使った学習への興味・関心	27名	3名	2名	1名	考えをまとめる等におけるタブレットの活用	20名	9名	3名	1名	タブレットを活用した話し合い活動（対話）の活性化	20名	9名	4名	0名	タブレットを活用した学習全般の有効性の認識	24名	8名	1名	0名
調査内容	4	3	2	1																																																		
社会の授業への興味・関心	11名	18名	2名	2名																																																		
授業における話し合い活動への意欲	21名	9名	2名	1名																																																		
話し合い活動を通じた思考の広がり・深まりの実感	23名	8名	1名	1名																																																		
学習内容と自分の生活や将来とのつながり	24名	5名	3名	1名																																																		
調査内容	4	3	2	1																																																		
タブレットを使った学習への興味・関心	27名	3名	2名	1名																																																		
考えをまとめる等におけるタブレットの活用	20名	9名	3名	1名																																																		
タブレットを活用した話し合い活動（対話）の活性化	20名	9名	4名	0名																																																		
タブレットを活用した学習全般の有効性の認識	24名	8名	1名	0名																																																		
<p><b>単元前の児童の様子</b></p> <p>①画像を取り込んだり、文字の書き方を工夫したりして、調べたことを自分なりにまとめることができる。 ②自分に合った手段を選択し、意欲をもってまとめようとすることができる。 ③自動車のよさや今後の在り方について考えることができる。 ④児童同士で意見交換をし、アドバイスをしたり、よいところを伝え合ったりすることができる。 ⑤教科書の文章をそのまま書き抜いており、自分の言葉にまとめることが難しい。 ⑥自分の力でまとめることが難しい児童でも、友達のシートを参考にするために見ることが少ない。</p>		<p><b>単元終了時の児童の様子</b></p> <p>①画像の貼り付けや文字の書き方の工夫に加え、レイアウトについても考えることができる。 ②授業内容を考え、その都度自分に合った手段やシートを選ぶことができる。 ③これからはどんな車がおすすめなのかを多角的・多面的に考え、自動車のよさを他者に伝えることができる。 ④タブレットを活用して、友達と話し合い、得たことを自分の考えに反映させることができる。 ⑤必要な情報を取捨選択し、自分の言葉で文章にまとめることができる。 ⑥社会のポータルサイトを活用することで視覚的に友達のシートを見ながら、意見交換や知識等の共有ができる。</p>																																																				

### 3 指導に当たっての留意点

#### (1) 主体的に課題に向き合い考動することができるため

- CMや実際の写真等を活用して、自動車生産においては消費者や社会のニーズ等に応じて、多くの人々が関わり、様々な工程を経て自動車1台1台ができるがっていることを捉えさせる。
- 日本製の自動車の世界的なシェア等を知りその理由を考えることで、安全性、環境保全、福祉、操作性等の日本製の自動車の特徴を理解させる。
- 他の児童がまとめた学習シート(Canva)と振り返りシート(スプレッドシート)が共有できる状態にしておき、必要に応じて加筆、修正等をしたり、自分の考えの参考にして新たな気付きや考えをまとめたりできるようにする。

#### (2) 互いに高め合う集団になるため

- 社会科のポータルサイトで、同じ観点で考える児童のシートを同グループとして配置し、困ったとき等にすぐ同グループの児童のシートを見て参考にできるようにする。また、意見交換も自由にできるようにする。

#### 【ICT活用計画…協働的な学びの中で考え方を広げ、深める授業づくりのために】

### キヤッチコピー

推しポイント①見出し推しポイント②見出し

Canvaを活用することで、同時進行で進めている友達の資料を見ながら、その都度意見を交流をしたり、よりよくまとめたりできるようになる。(他者参照)



授業ごとに自分でまとめたノートやシートを社会のポータルサイトに保存しておくことで、いつでも自分の振り返りや他の児童のまとめ方を見たり、参考にしたりできるようになる。

(他者参照)



まとめや振り返りの中で、キーワードを記入している児童のセルの色が変わるようにすることで、自分の振り返りの質を高める材料にしたり、自分の振り返りに自信をもつたりすることができるようになる。

(本時のキーワードとして、「ハイブリッド」「運転補助装置」「センサー」「カメラ」「回転シート」「ロボット」等が挙げられる。)

※その他 課題解決を図る情報収集計画、検証結果やパフォーマンスの記録計画など(シーンに応じて活用計画を立てること)

## 4 本時の学習

(1) 目標 既習事項を振り返りながら、自分が紹介したい、今後求められる自動車の「よさ（推しポイント）」を考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入 ②	5分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>①前時までの学習を振り返る。</p> <p>◇自動車には様々な「よさ」があった。</p> <p>◇「事故を起こさない」「乗りやすい」「環境によい」「つくる人」「乗る人」「周りの人や環境」に対するよさも考えられていたよね。</p> <p><b>【学習課題】</b> よりよい社会にするために、これから自動車生産に大切なことは何だろう。</p> <p>②本時について考える。</p> <p>◇環境によいところを紹介したい。</p> <p>◇だれでも乗りやすい自動車を紹介したい。</p>	<p>○前時までの学習の振り返り（スプレッドシート）や児童がまとめたものを見ながら振り返る。</p> <p>（「問い合わせ」を生み出す手立て等）</p> <p>○だれに紹介したいかを明確にする。</p> <p>○どの「よさ」を紹介したいか、そのよさはだれに対するよさかを考え、具体的なイメージをもつことができるようする。</p>
展開 ③や	30分	<p>2 「推しポイント」を考える。</p> <p>①自分の「推しポイント」について近くの友達と話をする。</p> <p>◇毎日事故のニュースを見るから、やっぱり安全な自動車がよいと思う。「推しポイント」は、自動車の前方にセンサーが付いていることかな。</p> <p>◇それもいいよね。でもわたしの「推しポイント」は乗りやすさだな。おじいちゃんたちも乗りやすい座席になってるから、みんなで楽しく出かけられるんだよ。</p> <p>②前時までの学習の記録や教科書、資料集などを自由に使ったり、友達と意見交換をしたりしてまとめシートをつくる。</p> <p>◇事故を起こさないよさを紹介したいのだけど、どの資料を使っている？</p> <p>◇ハイブリッドのよさは、この説明で伝わると思う？</p> <p>◇この自動車だったら、この「推しポイント」も付け加えてアピールしたらどうかな。</p> <p>◇この「推しポイント」についての説明はもっと詳しい方が分かりやすいよ。</p> <p><b>【期待される学びの姿】</b> 自分で選択した手段でデータや資料を活用し、まとめシートを作成したり、意見交換をしたりしている。</p>	<p>○必要な資料をクラスルームに保存し、児童がいつでも参考にできるようにする。</p> <p>○前時までの学習の記録はC a n v aで確認する。</p> <p>○ポータルサイトを活用することで、作業中のシートも見合えるようにし、自由に交流できるようする。（他者参照）</p> <p>○I C T機器とワークシート、ノートなどの手段でまとめてよいことを示し、自分に合った方法を選択できるようする。</p> <p>○他の児童の資料をじっくり見たり、よさやアドバイスを伝え合ったりすることで、再度自分の資料のまとめ方の方向性を決められるようする。</p> <p><b>【具体的評価規準】（思考・判断・表現）</b> ○様々なデータの中から、自分が伝えたいよさの情報を選択し、活用している。 (発言・C a n v a・ワークシート・ノート・スプレッドシート)</p> <p><b>【到達していない児童への手立て】</b> ○他の児童の資料を見たり、使える資料をピックアップしたりして、方向性を決められるようする。</p>
終末 ④し	10分	<p>3 本時の振り返りをする。</p> <p>◇自分が選んだよさに合わせて「推しポイント」を選ぶことができた。次はもっと詳しく説明できるようにまとめていきたい。</p> <p>◇未来のために環境によい自動車がわたしの「推しポイント」。友達との意見交換でアドバイスをもらえたので、もっと「推しポイント」が伝わるように他のポイントがないか探していきたい。そして、完成したら、ぜひ家族に紹介したい。</p>	<p>○スプレッドシートに記入させる。</p> <p>○三つの視点を選択したあとに、その視点に合わせた振り返りを文章で記入できるようにする。</p> <p>○本時までの自分の振り返りと、本時も含めた友達の振り返りを見る能够のようにしておく。</p>

※こ・や・し は金剛小学校スタイル